

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0006  
 住 所 川崎市川崎区砂子二丁目11番地1  
 氏 名 川崎信用金庫  
 理事長 堤 和也 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎信用金庫		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	J	金融業、保険業
	中分類	63	協同組織金融業
主たる事業 の内容	地域金融機関		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,428	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

## (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

当金庫は経営方針の中に「業務に伴う環境負荷の低減に努めるとともに、環境保護運動への参加や環境に配慮した商品の開発などに積極的に取り組む」ことを掲げています。この方針に基づき、地域の脱炭素社会の実現に向けた融資商品の販売など、環境に配慮した経営を目指しています。

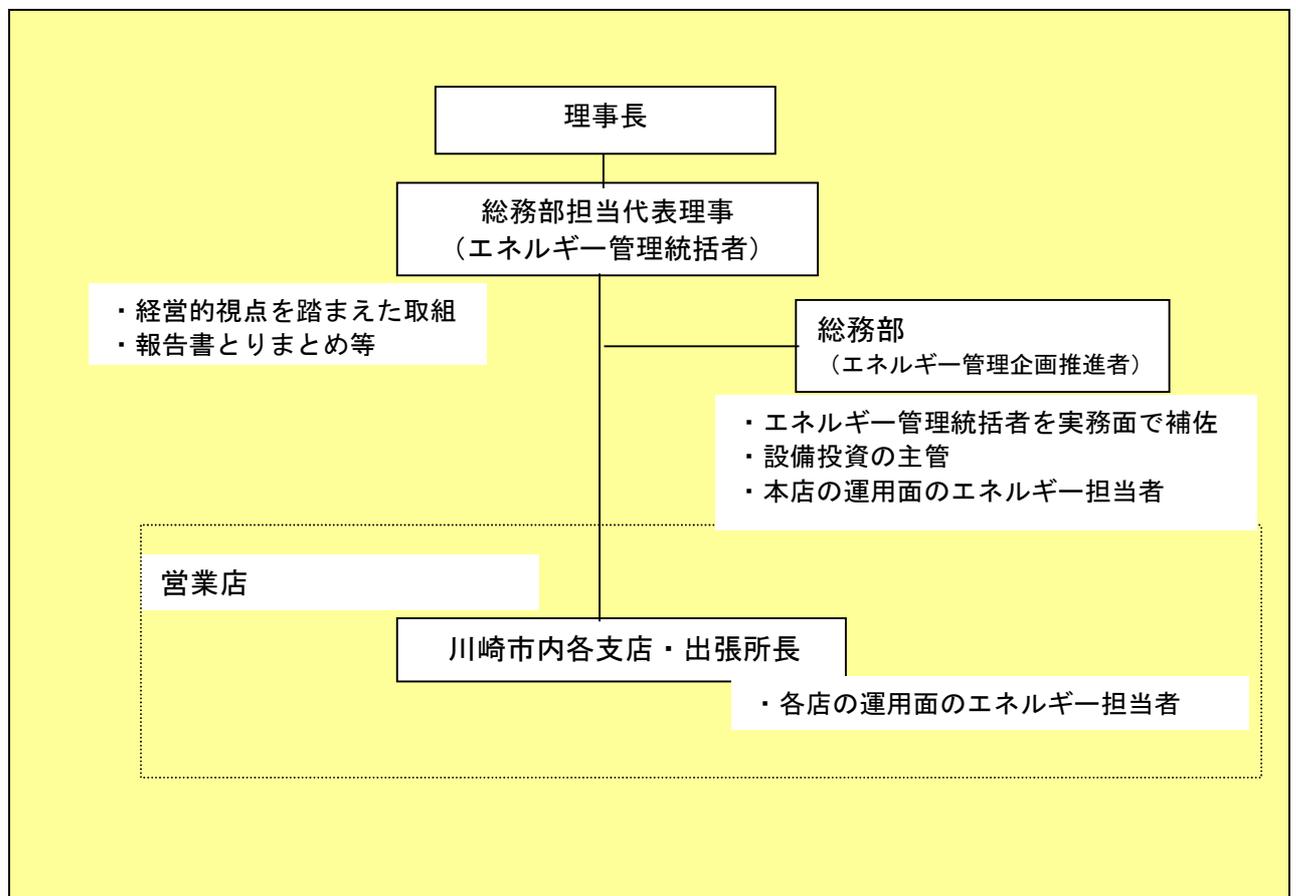
## (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C A サイクル）を行うための方針

当金庫のエネルギー消費は、省エネ法における原油換算エネルギー使用量で見ると、電気が9割以上を占めています。コンピューターや事務関連機器は技術の進歩により更改時の省エネ化が期待でき、現時点での主体的な取り組みとしては、照明機器と空調機器の更新が有効と考えます。よって、照明機器と空調機器の省エネ型への変更を計画的に進め、温室効果ガス排出量の削減を図って参ります。また、再生可能エネルギー源の利用拡大に向け太陽光パネル設置拡大を進めます。

## 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

別紙記載

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準年度		2021				年度
目標年度		2024				年度
基準排出量	(実)	2,504		(実)		
	(調)	2,483	t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
目標排出量	(実)	2,378		(実)		
	(調)	2,359	t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
削減量		(実)	126 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
内訳	対策実施による削減量	(実)	120 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
	上記以外の削減量	(実)	6 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
削減率		(実)	5.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		延床面積			
原単位の単位		t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>			
基準年度の値		0.04822			
目標年度の値		0.04581			
削減率		5.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

<p>「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」における2030年度までのCO<sub>2</sub>削減目標達成に向け、全社的に進めているクールビズ・ウォームビズによる空調機器用・照明機器の適正運用・管理の強化、空調機器・照明機器の省エネ型への計画的な更新等の施策により、3年間で5%の削減を目指して参ります。</p>
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

<p>未記載</p>
------------

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計 画	<p>以下の方針により温暖化ガス削減に努めて参ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地球温暖化対策に関する取組みを組織的に行い、継続的に対策を推進して参ります。</li> <li>2. 新店舗建築、既存店舗改修に際しては、省エネ対策を十分検討のうえ対応して参ります。</li> <li>3. 省エネ対応の照明機器・空調機器を計画的に導入して参ります。</li> <li>4. 事業所単位でのエネルギー使用状況を周知し、運用・管理に取組んで参ります。</li> <li>5. 資源の効率的な利用と廃棄物の削減を実施するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取組んで参ります。</li> </ol>
第 1 年度	/
第 2 年度	/
第 3 年度	/
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 省エネ対応の照明機器・空調機器の一部事業所への導入。</li> <li>2. 計画中新店舗への省エネ対策の検討。</li> <li>3. 環境保全に寄与する金融サービスの一部実施。</li> </ol>
---

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	発電パネル設置1ヶ所 追加設置検討
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
該当ありません		

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	△	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

5 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	未記載
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<p>1. 廃プラスチックの年間発生量・発生源を把握し、削減に取り組めます。                  2. ペーパーレス化と環境配慮用紙導入に取り組めます。</p>
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	2,504	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

1,428	KL
-------	----

ウ 事業所の数

75
----

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
本店以外	川崎市川崎区東門前一丁目	1,374 t-CO <sub>2</sub>
本店	川崎市川崎区砂子二丁目11番地1	1,130 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>